

あおしんの CSR(企業の社会的責任)活動



あおしんは、お客さまからの大切な預金を主に貸出金として地域の皆さまに円滑に供給するという金融機関本来の役割に加え、地域との協調・連携を一層強化し、地域社会の持続的な発展(共存同栄)に努めています。

あおしんの経済的・社会的・環境的な各種活動を、「地域」「お客さま」「職員」という3つの視点から紹介します。



あおしんと地域

地域 金融機能を通じた地域貢献

地域のお客さまからお預かりした大切な預金を、地域で必要とされるお客さまに円滑にご融資するという金融機関本来の役割を果たすことで地域のお役に立っています。

●お客さまからの預金積金、預り資産

夏季と冬季において「あおしん懸賞付定期キャンペーン」を実施し、107億円のご契約をいただきました。また、あおしんを年金の振込先とするお客さま向けに「あおしん年金3倍定期預金」の取り扱いや「ご家族お友だちご紹介キャンペーン」などもおこなってきました。その結果、預金積金残高は55億円増加し、9,045億円となりました。

預り資産残高については、投資信託は基準価額の上昇により3億円増加しました。また、個人向け国債は減少したものの保険商品は終身保険や平準払い保険の増加により3億円増加し、預り資産合計では前年度から5億円増加しました。

残高推移等の詳細につきましては、13ページをご覧ください。

●お客さまへのご融資

世界的な物価高騰や円安の進行、生産年齢人口の減少による人手不足など、中小企業を取り巻く経営環境には多くの課題があるなかで、あおしんでは引き続きお取引先企業への積極的なご融資に取り組んできました。個人のお客さまには、住宅ローン、教育ローン、マイカーローンなどライフステージに合わせたご提案をおこなってきました。その結果、貸出金残高は47億円増加し、5,261億円となりました。

残高推移等の詳細につきましては、14ページをご覧ください。

地域社会への貢献活動

信用金庫は、会員や地域の皆さまに金融機能を通じ、社会的・公共的使命を果たすことで地域に貢献してきました。あおしんでは、CSR（企業の社会的責任）の重要性を認識し、創業以来、地域に根差した活動から地域やお客さまと信頼関係を構築してきました。

●あおしん“TASUKI”寄附金を贈呈しました

2023年1月、地域の未来を担う子ども達のために「あおしん^{たすき}“TASUKI”寄附金」を創設しました。駅伝で使用される襷をローマ字で表し「寄附金を子ども達に繋げる」「未来に想いを繋げる」といった想いを込めています。

2023年度は、営業店所在地の23市・区・町に総額500万円を寄附しました。所沢市では寄附金からレトルト食品1,500食を購入し、同市社会福祉協議会を通じて市内11ヵ所の子ども食堂に贈られました。



杉並区



武蔵村山市



入間市



所沢市

●美しい多摩川フォーラムへの応援活動

あおしんは、美しい多摩川フォーラム（事務局は当金庫）への応援活動を通じ、官民広域連携による地域づくり運動を実施しています。

詳しい活動内容については、25～26ページにご紹介していますのでご覧ください。



美しい多摩川クリーンキャンペーン

●青梅マラソン大会の運営に協力

2024年2月18日に開催された第56回青梅マラソン大会は1万3千人を超えるランナーが参加しました。

あおしんでは地域社会貢献活動の一環として昭和55年の第14回大会から毎回多くの役職員がボランティアスタッフとしてランナーの皆さまの受付に携わっています。地域に親しまれるあおしんを目指し、当日は元気な挨拶、明るい笑顔でランナーの皆さまをお迎えしました。



●令和5年度「東京都スポーツ推進企業」の認定を受けました

青梅信用金庫は、2023年12月1日、東京都創設「東京都スポーツ推進企業」の認定を受けました。

東京都では、従業員のスポーツ活動の促進に向けた優れた取り組みや、スポーツ分野における支援を実施している企業等を「東京都スポーツ推進企業」として認定しています。

本制度は平成27年度に創設され、広く都民に周知することで、企業のスポーツ活動を推進するとともに、健康増進や人とのつながりなど、スポーツの力を享受できる「スポーツフィールド・東京」を実現することを目的としています。

当金庫では、所有厚生施設を利用して、全国大会出場を目指すスポーツクラブを支援しており、その取り組みが評価され、創設以来9年連続で認定を受けております。



●金融経済起業家教育への取り組み

あおしんは、2019年4月に包括的業務提携を締結したアイザワ証券株式会社と関東財務局東京財務事務所の3者で連携し、将来のキャリアや資産形成の醸成を目的とした金融リテラシー・キャリア・起業家教育の授業をおこなっています。2020年度から取り組んでいる青梅市立吹上中学校での授業は、信用金庫、証券会社、関東財務局の3者による非常に珍しい取り組みとして注目されました。

2023年度は11月7、8、9日に実施し、12月13日には新たに青梅市立第七中学校においても実施しました。

12月7日には青梅市立霞台小学校において、5年生を対象に実施しました。また、9月と12月に実施された東京都の「小中学生起業家教育プログラム」に基づく4年生を対象とした授業において、児童が作成した事業計画に対し融資審査をおこなう金融機関役として参加しました。さらに、東京都立青梅総合高等学校では10月31日に青梅市・青梅商工会議所・アイザワ証券株式会社の4者で実施し、当金庫の職員がメイン講師を務めました。

今後も次世代を担う子どもたちが金融・地域経済の仕組みを理解し、将来のキャリア・資産形成に関する知識を高められるよう努めていきます。



青梅市立吹上中学校



青梅市立第七中学校



青梅市立霞台小学校



東京都立青梅総合高等学校

●特殊詐欺未然防止への取り組み

振り込み詐欺などの特殊詐欺被害を未然に防止する取り組みとして、高額な現金出金や振込を希望されるお客さまには、内容の確認やアンケートを実施しています。

また、特殊詐欺の撲滅に向けた取り組み強化月間には、一人でも多くのお客さまに特殊詐欺への認識を高めていただくため、チラシやポケットティッシュの配布をおこなっています。

これらの取り組みにより、詐欺を未然に防ぎ、警察署より表彰を受けています。

今後もお客さまの大切な財産をお守りするために、警察と連携を図り、特殊詐欺の撲滅に努めていきます。



●地域行事への参加

地域の皆さまとの交流を深めるため、お祭りやスポーツ大会など地域のイベントに積極的に参加しています。



青梅大祭



福生 セタまつり



みずほサマーフェスティバル



増戸 ますます市



奥多摩町100縁商店街



武蔵村山市民駅伝競走大会

●認知症予防セミナー

2023年6月9日、認知症予防セミナー～脳の健康を保ち、イキイキ生活する秘訣～を開催しました。セミナーでは、認知症の改善策をテーマとするドキュメンタリー映画「僕がジョンと呼ばれるまで」の上映とKUMON「学習療法」の講義をおこないました。



あおしんとお客さま

お客さま お客さまへの支援活動

いつでもご相談できる体制で、事業のライフステージに応じた適切な経営支援をおこなっています。

●お客さま支援体制を強化

お客さまのさまざまなニーズや課題解決に向けた体制を強化するために、営業推進部コンサルティング課内に中小企業診断士を配置し、お取引先の事業性評価や課題解決支援、職員の相談能力向上に積極的に努めています。

●コンサルティング機能の発揮状況

経営改善計画作成支援

当金庫は経営革新等支援機関として全店に「コンサルティングリーダー」を配置しています。当金庫の直接支援により、経営改善支援の他に外部機関や外部専門家をご紹介し、経営改善計画作成支援をおこなっています。

事業再生検討会

事業再生が必要なお取引先へ提携先の税理士や公認会計士による財務内容改善提案や事業内容見直し提案、事業の継続性や事業性評価をおこない課題解決を図っています。

経営相談会

外部中小企業診断士と当金庫内中小企業診断士が連携し、企業診断を基に直接お客さまの経営相談をおこない、経営課題解決の提案を毎年上期と下期に開催しています。

事業性評価推進ミーティング

当金庫内中小企業診断士が営業店と協力し、お客さまの事業性を評価し、経営者との信頼関係を深めています。

外部連携機関・外部専門家との連携

◆経済産業省関東経済産業局、(株)地域経済活性化支援機構、中小企業活性化協議会、中小企業支援ネットワーク(信用保証協会)、日本公認会計士協会、税理士協会、よろず支援拠点、TKC西東京山梨会、中小企業診断士協会、中小企業診断士、公認会計士、税理士、弁護士、経営革新等支援機関等と連携を図っています。

◆国がおこなっている「よろず支援拠点」による専門家相談、信用保証協会の中小企業支援ネットワーク(経営サポート会議)による企業再生に向けた具体的な支援方針の提案など、外部機関と連携しさまざまな経営改善のための支援活動をおこなっています。

職員の目利き能力の向上

◆厳しい環境におかれる中小企業者への支援力の向上を図るために、営業職員を対象に「プロのコンサルタントから学ぶ企業支援シリーズ～企業支援のピカイチ涉外担当者になるための秘訣～」をおこないました。



「プロのコンサルタントから学ぶ企業支援シリーズ」の様様

- ◆新型コロナウイルス感染症の影響を受けるお客さまへの伴走支援を強化するために、東京都よろず支援拠点と連携して「よろずゼミ」を実施しました。中小企業診断士などの専門家（コーディネーター）による相談会に当金庫の職員も同席することで、お客さまの課題解決に協力しながら専門家のコンサルティング手法や専門的な知識を学ぶ研修にもなっています。



「よろずゼミ」の様

事業承継支援

経営者の高齢化が進み、日本経済を支える中小企業・小規模事業者の雇用や技術の喪失といった問題がクローズアップされています。このような問題に対し当金庫では計画的な事業承継に取り組めるよう、積極的に専門家派遣による事業承継相談会を開催しています。

● 経営相談への取り組み

お客さまのさまざまな経営課題の解決支援のため、ライフステージに応じた円滑な資金提供はもとより、コンサルティング機能の発揮のため「中小企業経営力強化支援法」に基づく「経営革新等支援機関」として、財務省関東財務局および経済産業省関東経済産業局から認定を受け、外部機関や外部専門家との連携強化を図り経営相談・経営支援および課題解決型金融の実践に取り組んでいます。

経営革新等支援

- ◆事業再構築補助金・ものづくり補助金をはじめとした、各種補助金の申請を支援する取り組みをおこなっています。
- ◆経営革新等支援機関（外部専門家）による経営改善計画書策定支援事業を支援しており、同計画作成時も補助金対象となります。

自社株評価サービス

中小企業の事業承継への取り組みを支援するために、決算書の分析による自社株評価サービスをおこなっています。2023年度は、2,238社に本サービスを提供しました。

財務診断サービス

お客さまの経営状況と財務内容の改善を図ることを目的に、財務診断書を作成するサービスをおこなっています。損益計算書・貸借対照表を分析し、キャッシュフロー等の改善点を提案するサービスを全店で取り組んでいます。2023年度は、2,477社に財務診断書による提案活動をおこないました。

お客さま

「経営者保証に関するガイドライン」への取り組み

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」及び「事業承継時に焦点を当てた『経営者保証に関するガイドライン』の特則」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するため、「経営者保証に関する取組方針」を策定しています。同取組方針に基づき、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務等の状況を把握し、同ガイドライン等の記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。

	2023年度
新規に無保証で融資した件数	4,742件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	53.71%
保証契約を解除した件数	40件
経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数 (当金庫をメイン金融機関として実施したものに限る)	1件

●あおしんビジネスマッチング応援サイト

地域の事業者の販路拡大を恒久的に支援するために、マッチング専用のWebサイトを開設し、多くの事業者にご活用いただいています。



◀ サイトはこちらから
ご覧になれます。



●あおしんビジネス支援マッチング大会

新たな企業との出会いをビジネスチャンスにつなげ、地域経済が活性化することを目的に、あおしんビジネス支援マッチング大会を開催しています。

2023年10月18日にフォレスト・イン昭和館で開催した「第20回記念あおしんビジネス支援マッチング大会」は、コロナ禍を経て4年ぶりの開催となり、本大会のテーマを『世代や業種の垣根を超えた創生へのプロローグ』～地域の成長、輝く未来に向けて輪を広げよう！～として掲げ、従来の展示会形式から個別商談や連携・協力機関の皆さまとの相談に特化した内容として開催しました。



●TAMA MIRAIビジネスフェア

多摩とその近隣地域の食品・雑貨・輸入品などを扱う企業の販路拡大等の成長支援や地域経済の活性化を目的として、TAMA MIRAIビジネスフェアを多摩信用金庫と共同開催しています。

2023年9月6日、7日に開催し、大手小売店等の招致バイヤー26社と約200件の商談がとりおこなわれました。



●たま工業交流展

多摩地域の中小企業が有する個性豊かな技術や製品を一堂に展示し、製品開発や加工技術等の紹介を通じた受注の拡大、パートナー企業の発掘に向けた情報収集など多摩地域の工業振興に繋がるビジネスチャンスを提供することを目的に2024年2月21日、22日に開催されました。2月23日には「たまロボットコンテスト」も開催され、当金庫はこの交流展に主催団体として参画しています。



あおしんと職員

職員がいきいきと働ける環境を整えることが、職員の活力向上につながると考えています。

職員 働きやすい職場づくり

仕事と家庭の両立を支援するため、育児休業制度や短時間勤務制度、介護休業制度などを設けており、多くの職員が利用しています。

育児休業・産後パパ育休に関する相談窓口の設置や、妊娠・出産の申し出をした職員に対し個別の周知・意向確認をおこなうなど働きやすい職場づくりに努めています。また家族の介護が必要となった職員に対しては、離職することなく家族のサポートができるように両立支援をおこなっています。

職員 クラブ活動

職員が週末を利用し、クラブ活動を盛んにおこなっています。多くのクラブがあり、職員の適度な運動やリフレッシュの場となっています。



野球部

東京都信用金庫協会主催
第72回東京都信用金庫野球大会出場



サッカー部

東京都信用金庫健康保険組合主催
第29回サッカー大会出場



卓球部

東京都信用金庫健康保険組合主催
第67回硬式卓球中央大会
男子Aクラス3年連続個人優勝



ソフトテニス部

全日本実業団ソフトテニス選手権大会
STリーグⅡ(旧日本実業団リーグ) 出場